

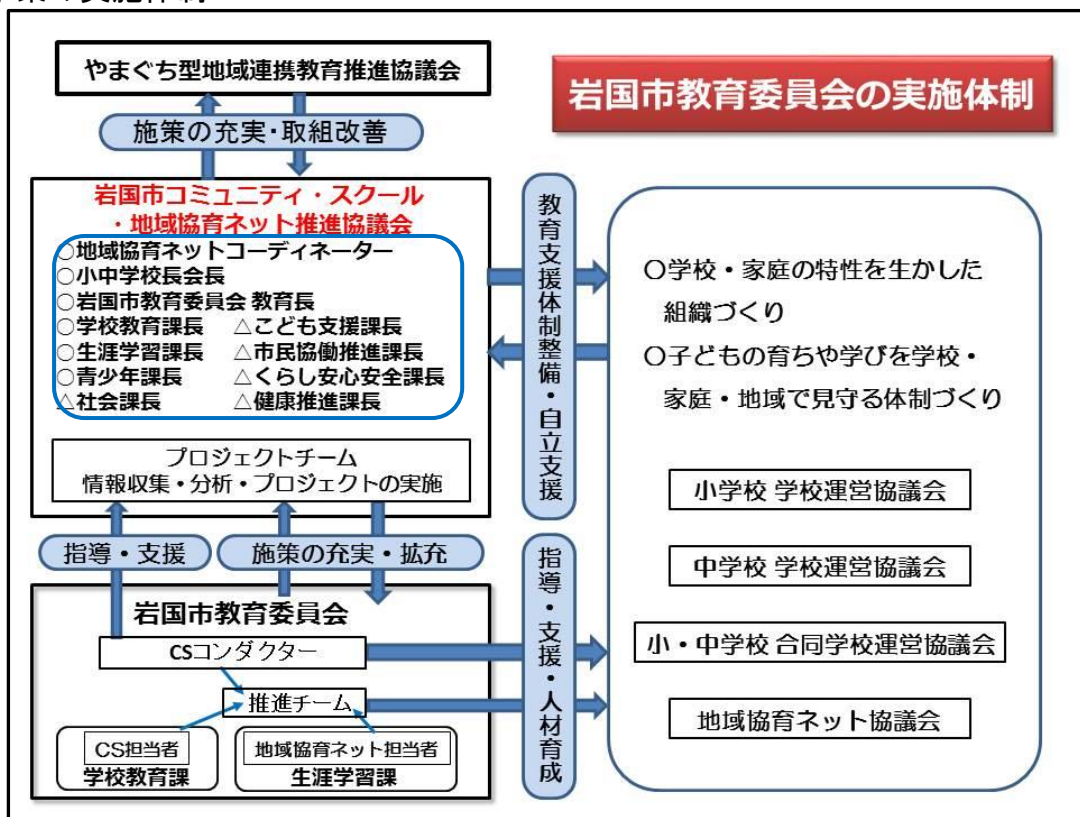
やまぐち型地域連携教育推進事業に関する岩国市の方向性

岩国市教育委員会

○ 岩国市における事業概要

- ◆ 「岩国市コミュニティ・スクール・地域協育ネット推進協議会」の設置
  - ・ 構成：地域協育ネット協議会コーディネーター（15名）、小中学校長会長、教育長、学校教育課長、青少年課長、生涯学習課長、CSコンダクター、コミュニティ・スクール担当者、地域協育ネット担当者
  - 今年度から、こども支援課長、市民協働推進課長、くらし安心安全課長、社会課長、健康推進課長も出席
  - ・ 全県の施策の共通認識、地域の課題把握・改善、コーディネーターの資質向上
- ◆ 「CSコンダクター」の設置
  - ・ 岩国市コミュニティ・スクール・地域協育ネット推進協議会への指導・支援

○ 事業の実施体制



○ モデル中学校区の指定

平成29年度 岩国市モデル中学校区	
中学校	小学校
麻里布 中 H25	麻里布小H26
平田 中 H26	平田小H27
由宇 中 H26	由宇小H27、由西小H27、神東小H27
玖珂 中 H24	玖珂小H26
周東 中 H22	そお小H26、高森小H23、川上小H26、米川小H26、修成小H26、周北小H27

## ○ 事業の実施状況

- ア 岩国市コミュニティ・スクール・地域協育ネット推進協議会の開催（年3回）
- イ 地域連携担当教職員研修会、やまぐち地域連携教育の集い（岩国地域）の開催
- ウ 推進チームによる指導・支援

各学校で開催される学校運営協議会や各地域で開催される地域協育ネット協議会にCSコンダクター、コミュニティ・スクール担当者、地域協育ネット担当者が参加し、直接指導・支援の実施（延べ54回〔平成29年12月18日現在〕）

- エ 「岩国・和木CSだより」の発行

- ・第1号～第34号を発行（平成29年12月18日現在）
- ・内容（コミュニティ・スクールと地域協育ネットについて、市町内小中学校の好事例の紹介、CSコンダクターなどが参加した研修会の復伝、コミュニティ・スクールに関する意識調査結果の報告等）

- オ 講義・講演会の実施

- ・「やまぐち型地域連携教育」についての講義・講演を岩国・和木社会教育主事研修会、岩国市教育センター夏季研修講座、岩国きんたいきょうネット全体研修会、IWANISHI ネット協議会、岩国中央ロータリークラブ卓話、社会教育指導員・公民館主事等研修会、主任児童委員会議、灘地区生徒指導推進協議会などで実施

- カ 各種研修会等への参加

- ・やまぐち地域連携教育の集い（周南地域、柳井地域、防府地域）

- キ 行政・研修視察への対応

- ・高知県高岡郡津野町教育委員会・津野町立中央小学校、三島市議会、国立教育政策研究所社会教育実践教育センター、東広島市立風早小学校、大分市立4小学校

## ○ これまでの取組による効果

### （1）市内全体における効果

- ・各地域の特性を生かした「地域とともにある学校づくり」を推進する体制の定着
- ・学校運営に参画しようとする地域住民の意識の高まり
- ・教職員の積極的な研修への参加と熟議によるコミュニティ・スクールに関する意識の高揚
- ・教職員と地域住民を含めた学校運営協議会委員会による熟議を通じた、学校課題と「めざす子ども像」の共有化
- ・コミュニティ・ルームの設置による来校者の増加
- ・「学校を核とした地域づくり」の取組（小中高校生、地域協育ネット協議会委員、教職員、地域住民による熟議）
- ・学校運営協議会委員の授業や研究協議への参加による教員の指導力向上や授業改善（道徳の授業含む）

### （2）モデル中学校区における効果

- ・自主性を確立した学校運営の実践の広がり
- ・地域住民・保護者を対象とした意識アンケート調査によるコミュニティ・スクールの認知度や地域・保護者のニーズの把握、地域と連携して取り組む活動の設定

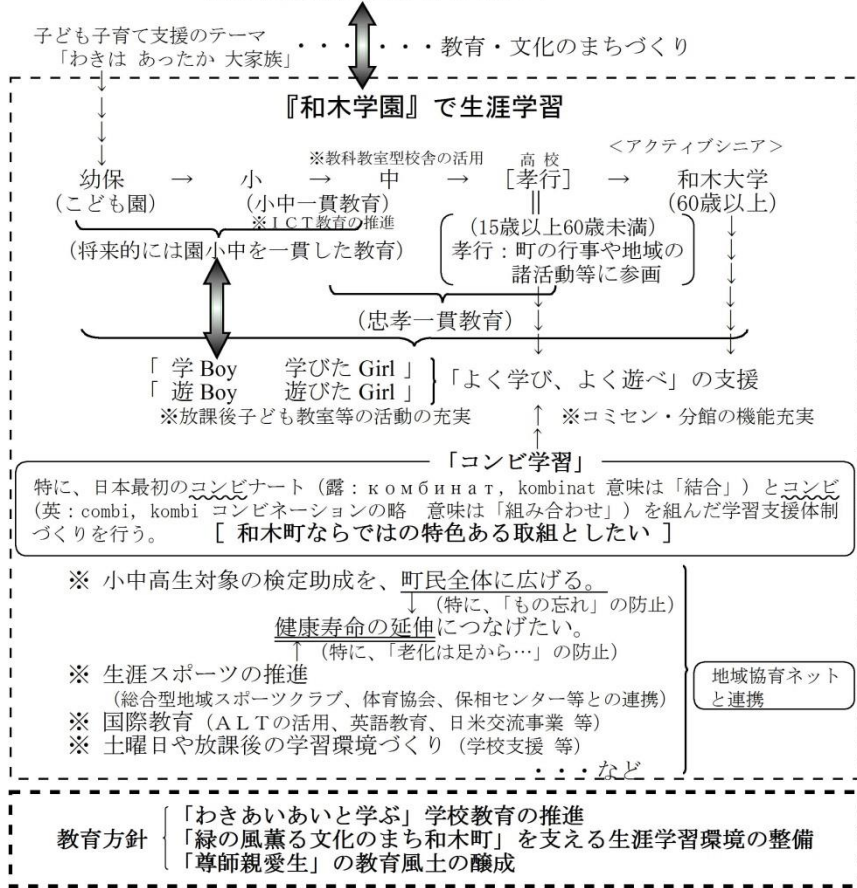
○和木町における「やまぐち型地域連携教育」推進構想

▼基本方針

「町ぐるみ『和木学園』」という構想を掲げ、「『わきあいあい（アクティブ・ラーニング）で学ぶ』学校教育の推進」「『緑の風薫る文化の町和木町』を支える生涯学習環境の整備」「『尊師親愛生』の教育風土の醸成」を教育方針の大きな柱とし、学校・家庭・地域・の教育機能の活性化を図り、「和木学園」で心豊かなコミュニティづくり・人づくりをめざす。

「町ぐるみ『和木学園』」構想

緑の風薫る文化のまち和木町



「我以外、皆我師也」

文豪 吉川 英 治さんが好んで使っておられたこの有名な言葉は、人が人らしく生きていこうとするところに、教育の営みが成立するという考え方である。  
隣の家のおじさんも、百歳を超したおばあちゃんも、その生きる姿を通して教育を行っている。庭にはえている草も、道にころがっている石も、みんな教材になる。  
和木町には、山がある。川も海もある。山青く水清らかな豊かな自然と最先端の技術をもつ化学工場も、みんな教材であり、私たちの師である。

学校とか家庭・地域という垣根を越えて、町全体で、みんなが互いに学び合うという町づくりをめざしたい。



学校運営に係る取組

岩国市立藤河小学校



「あいさつができる藤河っ子」を育てるために、地域協育ネットの仕組みを生かし、家庭、地域、学校の立場でできる取組について熟議を行った。

岩国市立柱野小学校



年6回、学校運営協議会委員が集まり、学校と家庭・地域が熟議を重ね、連携・協働して地域に開かれた学校づくりを進めている。

岩国市立通津小学校



児童の登下校の見守りをはじめ、安全・安心の視点から積極的に助言をしてくださる学校安全ボランティアの方々に感謝する会を行った。

岩国市立玖珂小学校



地区懇談会に地域協育ネットの委員のみなさんや自治会長さんに参加していただいた。地区の課題解決と一緒に取り組んでいただくよい機会となった。

岩国市立美和西小学校



学校運営協議会で「地域の人も来なくなる学校」というテーマで熟議を行った。グループごとに具体的な仕組みや方法等について提案することで、学校運営への参画意識が高まった。

岩国市立通津小学校、通津中学校



毎年夏季研修として通津小中教職員が一同に集まり、合同の研修会を実施している。今年度は学校運営協議会委員も加わり、今後の通津小中の一貫教育について協議し、考えを深める場となった。

岩国市立麻里布中学校



今年度から「学校運営協議会」の開催時間を14時からとした。その結果、授業参観はもちろん、学校運営協議会の方々と生徒や教職員とのふれあいの場がとれるようになり、交流が深まった。

岩国市立本郷小学校、本郷中学校



小中一貫校に向けた取組として、学校運営協議会委員と小中の教職員が、9年間の学びや「本郷を愛する児童生徒の育成」について協議した。

和木町立和木小学校、和木中学校



学校・保護者・地域・防災関係機関が連携して『防災キャンプ』を実施した。子どもたちは、地域や防災関係機関の方々と交流しながら、総合的な防災に係る各種プログラムを体験し、学習した。



学校支援に係る取組

岩国市立御庄小学校



地域の方が来校した際に「子どもたちが地域の方々と将棋をする機会があると喜びます」と投げかけをしたところ、その後、雨天時の昼休みに将棋を指しに来られるようになった。

岩国市立灘小学校



学校運営協議会委員や社会福祉協議会委員等、地域の方が平日の放課後約30分程度、宿題サポートボランティアとして児童の学習を支援してくださっている。

岩国市立中洋小学校



4年生が、地域の方々から城下町・岩国の代表的な郷土料理である岩国寿司の作り方やその歴史について教えていただいた。

岩国市立東小学校



恒例となっている家庭科の「ミシンの指導補助ボランティア」により、多くの方々の支援で子どものエプロン作りができた。

岩国市立由宇小学校



年3回の校内授業研究会で授業を公開する学級以外の学級に、地域の方に自習時の学習支援を行っていただいている。

岩国市立由西小学校



ジャガイモ・タマネギ掘りの手伝いに来てくださった。少ない人数でも効率的に活動することができた。

岩国市立神東小学校



通学路にイノシシが出たとの情報があり、神東地域の皆さんの手によって、通学路横の竹藪を伐採していただき、道路が明るく見通しもよくなった。

岩国市立川上小学校



学校・家庭・地域が連携した「餅つき交流会」を実施した。朝早くから保護者と地域の方が準備をされ、餅つきの仕方や餅の丸め方など、ていねいに指導していただいた。

岩国市立修成小学校



修成小学校応援団の方が定期的に集まって季節ごとに掲示物を作成し、子どもたちのために図書室に飾ってくださっている。



学校支援に係る取組

岩国市立周北小学校



児童・保護者・地域の方がふれあう「ふれあい参観日」を毎年開催している。会で振るまう豚汁の材料の野菜は、地域の方の指導のもとに子どもたちが育てた物や、地域の方が提供して下さった物である。餅つきも地域の方が手伝ってくださり、地域の方と一緒に作る会となっている。

岩国市立錦清流小学校



錦地域協育ネットでは、子どもたちの思いやりの心を育むとともに、地域のあいさつの輪を広げるため、毎月第2火曜日にあいさつ運動を行っている。

岩国市立宇佐川小学校



毎年参加している「花いっぱい運動」に向け、花の植え替え、花壇作り、除草活動などを手伝っていただいた。

岩国市立本郷小学校、本郷中学校



「ほんごうっ子応援隊」の方々が、毎月、校門付近の除草などの奉仕活動を行っている。

岩国市立麻里布中学校



今年度から学校運営協議会の方々から3年生を対象とした、「面接指導」を行っていただいた。3年生は、緊張しながらも、本番と変わらない雰囲気の中で面接に臨むことができた。

岩国市立東中学校



「えびす祭」という恒例の地域行事に多くの生徒が参加した。事前に、地域の方をゲストティーチャーとして学校に招き、踊り方の指導を受けた。

岩国市立玖珂中学校



11月から地域の学校支援活動の一環として給食時、地域の方による「読み聞かせ」を行うことになった。これにより、全校生徒が落ち着いて給食時間を過ごすようになった。

岩国市立錦中学校



昨年度から実施している土曜塾。今回は午前中に「しめ縄作り」、午後からは上沼田神楽の神楽殿や、宇佐八幡宮の大杉などを見学する「錦歴史探訪」を実施し、小学生8名・中学生3名が参加した。

岩国市立美和中学校



地域の方に講師をお願いし、地域の伝統文化を体験する「ふるさと交流会」を実施した。今年度は「秋掛太鼓」「しめ縄づくり」「華道」など13講座を開設した。普段できない体験ができ、生徒は達成感と喜びを感じているようである。



地域貢献に係る取組

岩国市立小瀬小学校



通学路や校区内の公園の清掃を年3回実施している。地域の方や保育園にも参加を呼びかけて一緒に行っている。

岩国市立河内小学校



地域にある土生ドライブインは、児童や地域の方がよく利用している場所である。清掃活動を児童・保護者・地域の方と一緒にすることで、みんなで美しく使っていこうという意識が向上した。

岩国市立岩国小学校



第6学年では、ふるさと学習の集大成として、校区にある名所旧跡を、観光客に説明する「子どもガイド」を行った。

岩国市立麻里布小学校



毎月1回、ボランティア委員会の児童の投げかけによって、全校児童の有志が隣接の公園の清掃活動を行っている。

岩国市立装港小学校



保護者や、地域の学校支援ボランティアの方々と一緒に、学校周辺の清掃活動を年間2回実施し、地域の環境美化に取り組んでいる。

岩国市立川下小学校



学校近くにある福祉施設「さくらんぼはうす」に3年生が出向き、施設利用される高齢者の方々と交流した。よさこいを披露したり、ゲームや肩もみをしたりして高齢者の方々に喜んでいただいた。

岩国市立愛宕小学校



本校児童・中学校生徒・各校の教職員・保護者・地域住民の協力を得て、それぞれが担当した地域に出向き、奉仕作業（クリーン作戦）を実施した。

岩国市立そお小学校



5・6年生が地域の高齢者宅を戸別訪問し、詐欺被害防止や交通事故防止を呼びかけた。

岩国市立高森小学校



中央地区敬老会にて、高森小学校吹奏楽クラブが演奏をした。演奏曲「ふるさと」では、地域の方も一緒に歌い、会場が盛り上がった。

地域貢献に係る取組

岩国市立錦清流小学校



児童の絵画等の作品を「まちぐるみギャラリー」に展示して、住民や観光客の目を和ませた。また、地域の方の墨絵や押花絵の作品を学校に展示し、生涯学習の発表の場を提供した。

岩国市立美川小学校



美川地区実行委員会主催「かじかの里ウォーキング」に、全校児童、教職員、保護者が参加した。地域の方々とともに美しい景色や名所を巡った。また、校内持久走大会も同日開催した。地域の方から温かい声援があり、児童の励みにもなっている。

和木町立和木小学校



地域のイベントで、地元商工会等の協力のもと、ハチミツやいちじくジャムなど、地元の特産品を販売した。子どもたちの参加により、イベントを盛り上げるとともに、子どもたちの愛郷心を高めることにもつながった。

岩国市立灘中学校



地域の社会福祉協議会が主催して毎年行われている青木海岸清掃に全校生徒の8割以上がボランティアとして参加し、地域の海岸のゴミなどを拾った。

岩国市立平田中学校



公民館事業で生徒がボランティアで指導者の支援を行っている。長期休業中は、公民館の3講座で活動を行った。

岩国市立周東中学校



登下校中、自分たちで地域を明るくしようと、立ち止まって、笑顔であいさつを行っている。校外でのあいさつ運動には100人近くの生徒が参加した。

CS・地域協育ネットの取組の広がりを期待して

岩国市教育委員会 山口CSコンダクター 藤井 明男



山口CSコンダクターとして、岩国市・和木町のCS・地域協育ネットの推進に学校・地域と一緒に取り組んでいます。それぞれの学校・地域の特色を活かした「地域とともにある学校づくり」が進んでいるとともに、「学校を核とした、人づくり・地域づくり」へと進展していることに喜びを感じているところです。その取組により学校と地域がお互いにWin-Winの関係を保ちながら、子どもたちの学びや育ちを支援し、よりよい子どもたちや学校の変容に繋がっていると捉えています。今後も各学校・地域の素晴らしい取組の様子を、「岩国・和木CSだより」などで幅広く情報発信を行いたいと思っています。



学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

岩国市立杭名小学校



地域交流学习で、絵手紙、クラフト、音楽のグループに分かれ、地域の方に教えていただきながら、作品を作ったり、演奏したりして、ふれあいを深めた。

岩国市立平田小学校、平田中学校  
平田を見つめる会



「平田を見つめる会」の皆さんに指導していただきながら、竹馬やお手玉など、様々な昔の遊びを体験した。小学1・2・5年生と中学2年生が参加した。5年生と中学2年生は1・2年生のお世話をしながら、体験を楽しんだ。

岩国市立米川小学校、  
よねがわ保育園



田んぼアートづくりへの参加や芋作りなど、農作業を通して地域との交流学习を行っている。地域の保育所も活動に参加し、保育園と小学校の交流も図った。

岩国市立周北小学校



日本の伝統文化に親しむために地域にいらっしゃる茶道の先生が、ふれあい参観日に合わせて、お茶会を開いてくださっている。お茶のたて方や飲み方など作法を丁寧に教えてくださり、児童だけでなく地域の方も楽しみにしている会である。

岩国市立美和東小学校、美和西小学校、  
美和中学校、県立岩国高校坂上分校



今年度初めて小・中・高、そして地域合同の避難所体験訓練を実施した。約330人が参加し、受付や模擬食料の配給体験等を行った。避難所での生活や連携の方法を学び、「共助」することの大切さを実感した。

岩国市立通津小学校、  
通津中学校、ペリースクール



年間を通じて小学校で実施される『国際交流会』では、毎回中学生がボランティアとして参加し、ペリースクールの子どもたちや保護者、通津小学校の児童と交流を深めている。

岩国市立岩国中学校



異年齢間の交流促進を主な目的として、公民館で活動しているクラブ(太極拳、三味線、乳幼児ふれあい、ソーシャルダンスなど、11団体)に来校していただいた。クラブでの日々の活動内容を1年生全員が体験し、交流を深めた。

岩国市立川下中学校、  
ペリースクール



地域マップを使い、ペリースクールの生徒とともにウォークラリーをすることを計画している。予行としてのミニ版ウォークラリーを行い、地域について知るとともに、親睦を深めた。

【ふるさと愛ネット】  
岩国市立小瀬小学校、装港小学校、  
東小学校、東中学校



年間3回(各学期1回)、小中合同で朝の地域一斉あいさつ運動を行った。地域へも呼びかけ、児童生徒、教職員以外の参加もあり、盛況であった。



学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

岩国市立平田小学校、  
平田中学校



小・中学校の児童生徒および地域保存会の連携により、伝統芸能の紹介・継承活動を行っている。年3回の発表活動が定着してきている。

【IWANISHI ネット】  
岩国市立杭名小学校、河内小学校、  
岩国西中学校



岩国西中学校の体育館で「大人と子どものディスカッション2017」を行った。小中学生と岩国西中学校卒業生、教職員、保護者、地域の大人がいっしょに、地域の活性化について話し合った。

岩国市立由宇中学校、  
由宇保健センター



由宇保健センターと母子保健推進委員が企画する子育て体験学習を、2年生を対象に、技術・家庭科の授業の一環として行った。

岩国市立周東中学校



恒例となった門松作り。丁寧に指導していただき、立派な門松ができあがった。年の瀬のせわしい中、心温まるひとときとなった。

岩国市立錦清流小学校、錦中学校、  
県立岩国高校広瀬分校



地域と連携した小・中・高合同避難訓練を実施した。河川氾濫の避難指示を受け、高校から小学校を経由して、助け合いながら避難会場である中学校の体育館に避難した。

岩国市立美和東小学校、美和西小学校、  
美和中学校、さかうえ保育園、  
県立岩国高校坂上分校



美和地域の保育園、小中学校、高校で避難所体験訓練を共同実施した。市や消防・警察等と連携し、災害時の避難所での生活はどのようなものなのか体験した。

灘の地域を愛し、地域からも愛される灘の子どもたちに

みんな元気Da ネット (灘地区協育ネット協議会) 会長

岡崎 天隆



灘地区は岩国市南部に位置する瀬戸内海に面した温暖な地域で、住民の学校に寄せる思いには熱いものがあります。そのような地域において、現在、灘地区協育ネット協議会が中心となり、地域、保護者、そして学校が一体となり協働した取組を進めています。

学校、児童生徒からの様々な応援依頼に応えるために、自治会、漁業協同組合、消防団、東洋紡、中国電力や神楽保存会等、地域のあらゆる団体が学校応援に協力可能団体として登録しており、学校や地域で行われる様々な活動において活躍しています。

これからは、このつながりの輪をさらに大きくしながら、子どもたちに地域の人たちから愛され守られていることの意味をより深く理解させながら、将来に羽ばたく素地を築いていきたいと思っています。